



ゆくて遥かに

令和2年12月21日(月)

第138号

長野県松本深志高等学校長

第5回信州大学連携ゼミ (12月12日)

一年生対象の信大連携ゼミ最終回となる第五回が、12日の土曜日に行われました。それぞれのゼミでは生徒同士で議論したり、発表したり、実験したりと、普段の授業とは異なる分野での様々な教育活動に取り組む姿が見られました。「(今回の松本深志高校でのねらいは)協働的に取り組むとともに、互いの良さを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度をねらいとして実施したものである。使った手法は、アイスブレイク→ブレインライティング→親和図法→バタフライテスト→ペイオフマトリックス→プロトタイプングである。わずか3時間という短い時間ではあったが、総合的な探究の時間における最初の段階での主体的・協働的に課題に取り組む手法の一つとして実施していく価値が十分あるとの確信を得ることができた実践となった」(田村徳至教職支援センター准教授、教職支援センターニューズレターより)新型コロナウイルス感染症の影響で、大学では4月から今日まで、対面授業の実施がなかなか難しい状況にあると聞いていますが、そんな中、本校で対面でのゼミ形式の授業を行っていただくのは、ちょっと申し訳ないようにも思いましたが、よく準備していただき、大学生・大学院生の的確な支援も得て、良質でアカデミックな時間となりました。五日間、ありがとうございました。



クリスマスコンサート後半 (12月11日～)

クリスマスコンサートの続報です。先々週の金曜日に、演劇がホームグラウンドの124番教室で発表し、先週は講堂を会場に、音楽部とギター部の演奏が行われました。いつものことながら、講堂の会場設営にあたっては、舞台装置設置委員会の影の多大なる活躍があります。コロナ禍で練習もままならない中、対策を工夫しながらの開催。発表の場を設けることができたことが一番の幸せ、と各顧問の先生も言っていました。今年から55分授業となり、授業終了が通常で15時45分、木曜日は16時25分、7時限のある火曜日は16時40分と、放課後の時間はとても窮屈になっています。それでも、

どんな状況下であっても、たった一度の高校生活を精一杯頑張っ



ている生徒たち。ご理解いただき、ご協力くださったご家庭や関係者の皆さまに心より感謝です。



2 学年進路講演会（12 月 10 日）

10 日の LHR では、2 年生が進路講演会を行いました。ベネッセより講師をお招きして、LL 教室から映像で配信、生徒は各教室で視聴する方式です。前半では、過日受験した進研模試の結果について詳しく説明があり、後半で「仮想入試目標設定シート」を使って、第一志望校の仮想共通テストと仮想個別試験の目標得点を設定し、仮想入試に向けて「これを頑張る」という宣言を記入していました。



その他の話題をいくつか

★ 先週は松本でも雪が降りました。これから本格的な冬を迎えるにあたって、コロナ感染防止策を一層強化していくために、各教室に加湿器と湿度計（温度計兼用）を配置しました。これで、教室内の適切な湿度の保持に留意してもらえればと思います。寒くなって難しいのが換気です。室温が急激に下がらない範囲で換気を定期的に行うこと、と県の通知には書いてありますが、窓を開ければ室温は急激に下がります……。



★ 12 日の夜、ふたご座流星群の観測を地学会が行いました。1 月のしぶんぎ座流星群、8 月のペルセウス座流星群と並んで、3 大流星群の一つに数えられているふたご座流星群。ピークは 14 日の深夜だったそうですが、土曜日ということでこの日の夜に設定されました。会場は 1 棟屋上、段ボールとブルーシートで特製のこたつを作って、防寒対策を万全にしての観測会。14 名の参加者で、翌朝までに 150 個以上の流星と火球も観測できたそうです。お疲れ様でした。



★ 17 日の昼休み、全国大会に出場する英語研究会とクイズ研究会に同窓会からの激励金（+校長寸志）を渡しました。健闘を祈念します。

今週の予定（1・2 年通常授業、3 年前期特編授業）

日	曜日	行 事 等	その他(主に校長動向)
2 1	月	学年会	旧 11 通学区高校教育懇話会
2 2	火		推薦入試合格者懇談
2 3	水	1・2 年成績会議 職員会	
2 4	木		教弘奨学金伝達式
2 5	金		
2 6	土		
2 7	日		
2 8	月	年末休業（～12/31） 仕事納め	

